

# 津市長が選ぶ 平成30年市政の10大ニュース



平成30年12月21日

# 津市長が選ぶ平成30年市政の10大ニュース一覧

**1** インターハイ開催 県内最多の  
5競技6会場で熱戦

**2** 「3つのこども園」開園

**3** 津北部地域海岸堤防の  
整備着工

**4** 子ども医療費窓口無料化  
障がい者医療費助成の拡大

**5** 小中学校に教員支援員配置

**6** 国登録有形文化財  
旧明村役場庁舎の一般開放

**7** 大型家具等ごみ出し支援事業  
スタート

**8** 災害時の応急給水確保のため  
の小学校受水槽への蛇口設置

**9** 中勢沿岸流域下水道  
志登茂川処理区の処理開始

**10** 台風による大規模停電



1

# インターハイ開催 県内最多の5競技6会場で熱戦

7月26日から8月12日の間、高校生最大のスポーツの祭典  
**全国高等学校総合体育大会(インターハイ)**を開催

津市では5競技6会場に**13万人**が来場

ハンドボール



(サオリーナ、安濃中央総合公園内  
体育館、津高等学校体育館)

女子バレーボール



(サオリーナ、芸濃中学校体育館)

レスリング



(メッセウイング・みえ)

なぎなた



(久居体育館)

柔道



(サオリーナ)

©Inter High



サオリーナ・三重武道館はオープン1年で**来場者51万人**達成

2

# 「3つのこども園」開園

市立初の幼保連携型認定こども園 4月に開園

津みどりの森こども園



香良洲浜っ子幼児園



白山こども園



質の高い一体的な幼児教育と保育が可能に  
3園あわせて**591人**(12月1日現在)の子どもたちが利用



3

# 津北部地域海岸堤防の整備着工

## 上野地区海岸堤防

9月25日、市道国道  
大蔵園海岸線南側から  
県が整備を開始

平成30年度事業費  
1億500万円

## 白塚漁港海岸堤防

国から2/3の補助が受けら  
れる海岸保全施設整備事業  
として新規認定され、  
県が地質・測量調査を開始

平成30年度事業費  
9,000万円

## 栗真地区海岸堤防

県管理から国の直轄事業へ

津松阪港海岸における国直轄の  
堤防整備が北側の県管理の栗真地区  
海岸堤防まで1,165m延伸され、  
国が基本設計を開始

延伸により、津松阪港海岸  
堤防と切れ目なく整備

千里地区海岸堤防

上野地区海岸堤防

白塚漁港海岸堤防

河芸工区

白塚工区

栗真地区海岸堤防

津松阪港海岸堤防

白塚地区海岸堤防

1,165m

早期整備に向けて3つの動きが同時進行



# 9月1日から未就学児の子ども医療費の窓口無料化、 精神障害者保健福祉手帳2級所持者の通院医療費助成を開始

## 未就学児の子ども医療費の窓口無料化

○:三重県補助事業 ◎:津市単独事業

対 象	未就学児 (乳幼児)	小学生	中学生
	通院・入院	通院・入院	通院・入院
子ども医療費	○	○	◎
助成方法	<b>窓口無料</b>	自動償還払	

- ▶ 子育て支援
- ▶ 重症化予防
- ▶ 経済的負担の軽減

## 精神障害者保健福祉手帳2級所持者の 通院医療費(1/2)助成

○:三重県補助事業 ◎:津市単独事業

対象者 対象 医療費	精神障害者 保健福祉手帳		身体障害者手帳			療育手帳		
	1級	2級	1級	2級	3級	A1	A2	B1
入院	(※1) ◎	(※1) ◎	○	○	○	○	○	(※2) ◎
通院	○	◎	○	○	○	○	○	(※2) ◎

※1 長期(90日超)の入院医療費(精神科)を1/2助成

※2 身障4級かつ療育B1の場合は県補助対象

- ▶ 経済的負担の軽減
- ▶ 総合的な健康づくり
- ▶ 障がい者の自立を支援

# 5 小中学校に教員支援員配置

三重県初

4月1日から津市独自の取り組みとして、  
小中学校に教員の業務を支援する**教員支援員を配置**

(一身田小、千里ヶ丘小、橋北中、久居中の4校)

事務作業



教員の事務作業を直接支援

相談・助言



再任用職員(元幼稚園長など)を配置

- 市行政経験を生かした助言・相談
- 市や県、関係機関との連絡調整役

教員が子どもたちと向き合う時間を確保



6

# 国登録有形文化財 旧明村役場庁舎の一般開放

## 9月2日、国登録有形文化財 旧明村役場庁舎を一般開放

整備前



平成18年11月29日 国登録有形文化財(建造物)に登録

耐震補強や内・外装工事、駐車場の整備  
文化財としての保存と公開活用

### 1階 ギャラリー・展示室

資料展示、紙芝居、ミニ講座等  
で地域の歴史を学ぶ場



### 2階 地域学習室

放課後子供教室、地域  
コミュニティ活動の場



整備後



事業費 1億6,890万円

一般開放後、見学者**1,218人**、子供教室などの  
利用者**596人**(11月30日現在)が来館



# 7 大型家具等ごみ出し支援事業 スタート

4月3日から大型家具等を壊すことやごみ一時集積所まで運ぶことが困難な方を対象に、無料での大型家具等ごみ出し支援事業を開始

「要介護1以上の者又は障がい者」のみで構成される世帯(約18,000世帯)を対象に市職員が直接訪問して収集

## 市民の声

- 対象世帯を拡充してほしい
- 普段のごみ出しはできるが、大きな家具類は重くてごみ一時集積所まで運べない

さらに支援が行き届くようにするために

10月1日から「要支援1以上の者又は障がい者」のみで構成される世帯(約21,000世帯)へ対象者を拡大



収集受付件数 171件  
(12月14日現在)

8

# 災害時の応急給水確保のための小学校受水槽への蛇口設置

三重県初

## 身近な避難場所である小学校の受水槽へ蛇口を設置

平成30年度

小学校40校、中学校1校、義務教育学校の近隣配水池施設1カ所に設置

受水槽に蛇口をつけることで

**大規模災害時における飲料水を確保**

- ▶ 1台の給水車で複数カ所の受水槽等へ巡回給水ができる
- ▶ 市民自らが、直接蛇口から水を利用できる
- ▶ 水道局職員や給水車が避難所に常駐しなくてよい

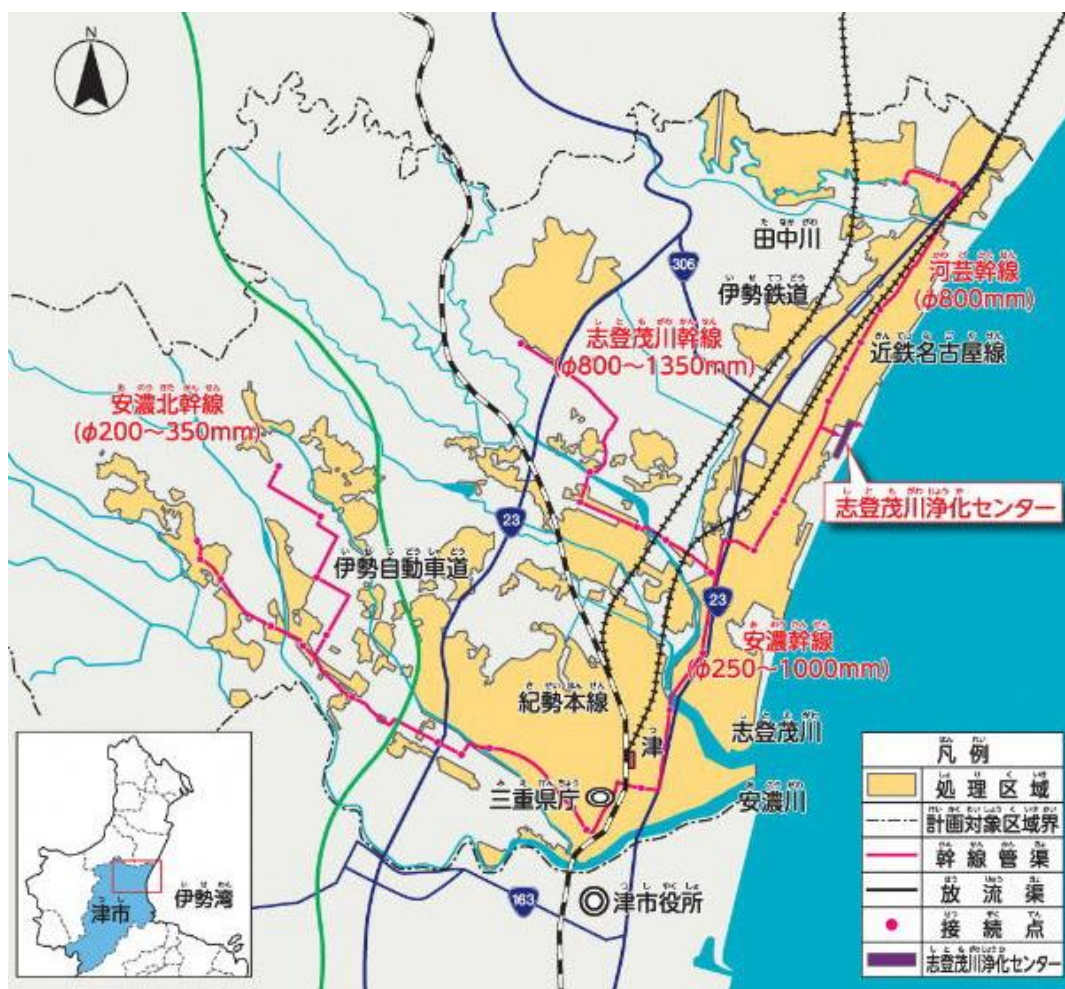
事業費 1,860万円

戸木小学校





三重県の中勢沿岸流域下水道志登茂川浄化センターが完成  
計画処理人口は約78,000人



志登茂川処理区計画図

4月から津(北部)地域・  
河芸地域・安濃地域の一部で  
公共下水道の処理が始まり、  
既に約6,000人が使用



志登茂川浄化センター

# 7月から9月に相次いで上陸した台風の影響で 大規模な停電が発生



台風第21号により停電した市内の信号機

## 最大停電戸数

7月	【台風第12号】	約63,600戸
8月	【台風第20号】	約2,500戸
9月	【台風第21号】	約29,000戸
	【台風第24号】	約8,400戸